

事業番号	380
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	男女共同参画推進事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	まなび創造館							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	事業係							
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		18 男女共同参画		2		あらゆる分野への男女共同参画を促進する							
		副目的	18-1													
	予算区分	款	10		項	5		目	9		大	4		中	2	
	根拠法令・個別計画	小牧市男女共同参画条例														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	女性と男性が社会の対等な構成員として、お互いの人権を尊重し責任を分かち合い、性別にかかわらずそれぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現をめざして、男女共同参画を促進する。														
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧市男女共同参画条例に基づいて、小牧市男女共同参画基本計画(ハーモニーⅡ)に盛り込まれた具体的な取組(各区に男女共同参画普及員の設置、パネル展の開催、男女共同参画の啓発冊子の発行等)を推進した。 ・男女共同参画審議会において、市民意向調査実施に向けての調査票等の内容を検討した。 ・職員は、男女共同参画審議会開催のため、他課からの資料収集と整理・連絡調整、男女共同参画普及員の研修と地区での普及活動を行った。 <p>【直接経費の内訳】 講師謝礼(7千円) 旅費(6千円) 消耗品・印刷製本費等(435千円)</p> <p>◎25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次小牧市男女共同参画基本計画の策定に向けて事業を実施する。 ・その他は、24年度と同様に実施する。 <p>【直接経費の内訳】 講師謝礼(74千円) 旅費(17千円) 消耗品・印刷製本費等(514千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	362	511	449	605	
		正職員	従事者数	人	0.70	0.70	0.70	1.00
			人件費	千円	3,731	3,731	3,731	5,330
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	4,093	4,242	4,180	5,935		
	対前年比	%		103.6	98.5	141.9		
財源	一般財源	千円	4,093	4,242	4,180	5,935		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	パネル展の開催	回	目標	2	2	3
実績				2	4	3	
業	男女共同参画基本計画の推進状況のHPアクセス数	回	目標	170	180	180	180
			実績	177	173	138(9~3月)	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			目標				
業	審議会等附属機関への女性の登用率	%	目標	33	33	33	33
			実績	24	27	4.1現在で調査中	
業	男女共同参画普及員の配置区	区	目標	25	30	30	30
			実績	25	29	25	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	担当課だけで達成できる問題ではなく、市全体で取組む姿勢が必要であり、積極的に働きかけた。 男女共同参画普及員の説明会と研修会を参加しやすいように土・日の午前中に開催した。 さまざまな事業を実施することによって、啓発や推進を図ることができた。				
		事業実施における課題	審議会等附属機関への女性の登用率が伸びず、男女共同参画基本計画に定める目標数値(平成25年 35%)に届かない。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	小牧市男女共同参画基本計画に盛り込まれた各種取組の推進に遅れが生じ、男女共同参画社会の実現が困難となる。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	平成25年度末で小牧市男女共同参画基本計画ハーモニーⅡの計画期間が終了するが、新計画策定が平成26年度となるため、1年間の計画期間の延長をする。				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	男女共同参画を促進するためには、小牧市男女共同参画基本計画の改訂に向けての本格的な調査や、情報収集などに積極的に取り組んでいく必要があり、「維持」と判断した。					
	26年度以降の改善案	男女共同参画普及員を全区に配置するため、積極的に男女共同参画推進事業をPRする。 審議会等への女性の登用率アップのため、女性人材バンクのさらなる活用を図る。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
		維持